

「西之表市立安城小学校のなぎなた踊り伝承活動の取組」

1 学校名

西之表市立安城小学校

2 学年・人数

全校児童（計 13 人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和 2 年 5 月～10 月 安城小学校体育館

(2) 発表の日時・場所

令和 2 年 9 月 20 日（日） 安城校区・安城小学校合同運動会

令和 2 年 10 月 25 日（日） 秋の大祭での奉納（安城諏訪神社）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

(1) 名称

なぎなた踊り（なぎなたおどり）

(2) 由来

なぎなた踊りは、奥州仙台にて、「みやぎ」と「しのぶ」の姉妹が志賀団七郎を相手に父の仇を討つ物語で、今世に上方芸能を受け継いだもと言われている。

(3) 構成等

剣を持った男子一列となぎなたを持った女子一列が、前に進み出て踊る。お互いの口上の後に、男女の列が入れ違いながら剣となぎなたで斬り合うところが、最大の見せ場である。

5 保存会や地域との連携の具体

総合的な学習の時間に「郷土文化を受け継ごう」というテーマを設け、なぎなた踊りに取り組んでいる。高学年から低学年に伝承するという形をとってきたが、児童数の減少に伴い子供同士の伝承が難しくなってきた。そこで、去年のビデオを見ながら確認をしたり、隊列を決めたりしている。細かい動きについては、地域の指導者が講師として指導している。

着付けについては、地域の方を講師に招き親子着付け教室を開催し、保護者が自分の子供の着付けができるように練習している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

児童数減少に伴い、踊り手の人数不足や男女のバランスが悪い。そこで、小学校教職員が、運動会や秋の大祭の踊り手として協力をしている。今後は、地域の大人にも協力を要請していきたい。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



（体育館での練習）



（体育館での練習）



（秋季大運動会での発表）



（秋の大祭でのなぎなた踊り奉納）

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【1年生児童】

- ・ 剣を持って踊るのがかっこいいです。「鬼滅の刃」みたいです。

【6年生児童】

- ・ 親子留学で安城小に来て、初めて踊りました。最初は覚えるのが大変だったけど、本番は上手に踊ることができました。

【保護者】

- ・ 初めてなぎなた踊りをする子供が多かったのですが、みんな上手に踊っていました。息子も3年目になり、自信をもって堂々と踊っていました。新聞にも取り上げられ、安城小の良き伝統になっています。

【教職員】

- ・ 今年は男女のバランスが悪かったので、教職員が踊り手として参加した。踊り手としてなぎなた踊りを経験することで、来年度からの指導にも生かせそうである。また映像や資料を整理し、引き継ぎが十分にできるようにしていきたい。

【地域の方から】

- ・ 今年は、なぎなた踊りに教職員の参加があり、華やかさが増した。地域行事にも安城小の児童や教職員がたくさん参加してくれ、地域にも活気が感じられる。私も元気をいっぱいもらっている。